

「町民アンケート」

行	政	評	価
結	果		

町では「第6次第3期町総合計画」（令和4年度）の行政評価の進捗状況を評価する行政評価を実施しており、その成果指標とするために、毎年度「町民アンケート」を実施していました。今年5月に実施したアンケートの結果なな月に実施したアンケートの結果ななとを踏まえて行われた「行政評価」の結果をお知らせします。アンケートにご協力いただき、ご意見を寄せいただいた皆さま、ありがとうございます。

▼ 実 施 内 容 ▲

目的／広聴活動の一環および総合計画の達成度を測る指標の現状を調査する。

対象／20歳以上の町民名簿から無作為に抽出した1000人

締切／6月6日に設定

回答率／32・9%

▼ 評価方法 ▲

アンケートのうち、行政評価・まちづくりに関する設問（問8、問13）について、それぞれの項目ごとに大変満足「5」、満足「4」、ふつう「3」、あまり満足でない「2」、満足でない「1」のいずれかに○印をつけてもらい、それを集計・点数化しました。大変満足「100点」、満足「75点」、普通「50点」、あまり満足でない「25点」、満足でない「0点」として集計しています。

また、自由記載欄には自由に意見を書いていただき、132件の意見をいただきました。主な意見を掲載します。

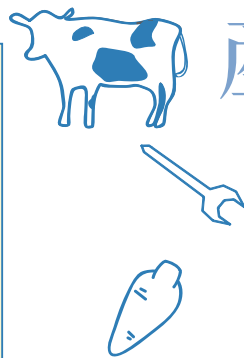
▼ 回答結果 ▲

※町民アンケートのうち、行政評価・まちづくりに関する設問（問8、問14）の回答のみをお知らせします。

問 8 弟子屈町の生活環境やまちづくり、町政についての満足度を教えてください。

問 14 よりよいまちづくりに向けて、あなたの意見を自由にお書きください。

産業活性化



●公園整備に力を入れるのはわかるが、人の雇用の方が大事。大きなホテルが一つでも建てば町が活性化すると思う。



弟子屈産ワイン「テシカロゼ2024」の初出荷

暮らし



町民の声

（自由記載から一部を掲載）

● 子どもの遊び場が少ない。室内外の遊具が充実すると嬉しい。

● 独居の人が安心して住めるよう、みんなで見守れる仕組み作りをお願いしたい。



いつまでも健康に

環境



町民の声
（自由記載から一部を掲載）
● これからも弟子屈の自然を守りながらも、人工的な建造物が増えすぎないことを切に願っている。

設 問															満足 (点)	昨年度 (点)	点差
(1)	温室効果ガスを削減するカーボン・ニュートラルに向けた取組	47	46	41	47	46	41	47	46	41	47	-2	-5	-2	点差		
(2)	3 R や廃棄物の適正処理、廃棄物による環境汚染の低減	47	46	41	47	46	41	47	46	41	47	-2	-5	-2			
(3)	自然環境維持、家畜ふん尿の適正処理を進め、農村部におけるより快適な生活環境づくり	46	45	40	46	45	40	46	45	40	46	-2	-5	-2			
(4)	生物多様性の重要性を住民が知る機会を提供し、野生動物との共存を図る取組	50	49	44	50	49	44	50	49	44	50	0	1	0			
(5)	景観条例を踏まえた、町全体が統一感を持った景観づくりと、多くの住民が町内の公園を安全に利用できる取組	52	51	46	52	51	46	52	51	46	52	1	1	0			
(6)	災害に強いまちづくりを進め、住民や観光客等に対し有事の際の安全と安心の提供	49	48	43	49	48	43	49	48	43	49	-1	-1	-1			
(7)	消防、行政、住民が齊に行動し、身体・生命・財産を守り、安心を提供できる消防体制と活動が展開される取組	43	42	37	43	42	37	43	42	37	43	-2	-2	-2			
(8)	交通事故のない社会に向けた対応や、多種多様な凶悪犯罪を誘発する社会環境の変化に対応した防犯対策の強化	45	44	39	45	44	39	45	44	39	45	-3	-3	-3			
(9)	悪徳商法や振り込み詐欺の被害のないまちが実現する取組	47	46	41	47	46	41	47	46	41	47	-2	-2	-2			
(10)	住民が安全に利用できる公衆浴場の運営と新規整備、斎場や墓地の適正管理	50	49	44	50	49	44	50	49	44	50	-1	-1	-1			
(11)	若い世代を中心とした多世代の住民や観光客が、心地よく長く滞在しなくなる市街地エリアの創出	61	60	55	61	60	55	61	60	55	61	15	15	15			
(12)	市街地の形成に沿った、安全な道路整備の維持	56	55	50	56	55	50	56	55	50	56	6	6	6			
(13)	子どもから高齢者まで誰もが住み続けることができ、住民の居住など、良好な住環境を形成する取組	60	59	54	60	59	54	60	59	54	60	12	12	12			
(14)	水道・温泉の安定供給と、安定した水道事業経営	45	44	39	45	44	39	45	44	39	45	-10	-10	-10			
(15)	安定した下水道事業経営と、自然環境の維持に向けた浄化槽設置への理解と対応を進める取組	45	52	55	48	47	46	51	49	48	45	-7	-10	-7			
(16)	鉄道やバスなどの生活交通の維持	60	45	45	60	45	45	60	45	45	60	45	-7	-10	-7		

設 問					満足度 (点)
17 安全・安心な農畜産物の安定供給、家畜伝染病の防止対策が十分図られた、持続可能な農業を実現するための取組	48	60	58	51	51
18 安定した農業経営のもと、行政・農業者・商工業者が連携し、地場産食材を内外に発信・普及させ、誰もが誇れる魅力ある農業のまわりの推進	51	55	56	54	51
19 森林作業員を確保し、継続的な林産業の安定経営と、健全な森林の拡大・再生	49	5	2	5	0
20 豊かな自然や人々の暮らしを守り続ける「弟子屈町らしい持続可能な観光」づくりの推進	点差				
21 商工事業者の経済基盤の強化による、地域内経済の好循環を生むための取組					
22 水産資源の保全による増大が進み、水産業が産業として成立する状態となるための取組					
23 企業誌等による町内経済の活性化が図られ雇用増加に結びつくことによる、町内企業や事業者での人材不足解消や、経済活動の活性化					

設 問					満足度 (点)
24	心身ともに健康な住民の生活を支援する体制を強化し、健康寿命を延伸するための取組	41	50	44	41
25	町内医療機関の連携や他地域医療機関との広域連携、救急医療体制の強化、地域医療体制の維持・向上	41	46	44	41
26	新型コロナウイルス感染症やその他の各種感染症を防ぐ体制を構築する取組	41	46	44	41
27	多くの「見守りの目」があることで、自助・共助・公助が隔てられることなく、安心して暮らせるまちになり将来に対する不安が軽減される環境や支援体制が充実させる取組	47	49	44	41
28	子育て世代が悩みをひとりで抱え込まない充実した支援が行われているとともに、妊産婦が、妊娠期から子育て期を健やかに過ごすことができるよう取組	49	49	44	41
29	親と子、地域住民、事業者及び行政が一体になって、子どもの輝きを、何にも代えがたい大切なものとして、「育んでいくまちづくり」を進める取組	51	49	44	41
30	高齢者がいつでも、誰にでも相談できる雰囲気と体制の確保、不安を抱えることなく、いつも安心して暮らせる環境の整備	52	53	49	41
31	病気や障害を持つ人も、安心して地域で暮らし、療育を必要とする子どもへの支援と、家族の不安が軽減する取組	54	51	49	41
32	寝たきりとなる人を作らないよう、適切な介護予防サービス等が提供され、施設（養護老人ホーム・徘徊園）入所者の身体機能の低下の防止と、日常における安定的な生活が継続される取組	49	49	44	41
		0	-3	-2	0
		2	1	0	0
		点差			

教育



町民の声
(自由記載から一部を掲載)
●この町で育っていく子どもたちに自然・地場産業・文化・歴史を学んでもらい、弟子屈で生きる素敵さを体感してもらいたい。本当の豊かさに気付くことは、よりよいまちづくりにつながるはず。



地熱発電について学ぶ生徒たち

設 問					満足度(点)	昨年度(点)	点差
33	弟子屈町教育の目指す姿として掲げる「学校・家庭・地域社会が連携し、ふるさとを創る人を育む」人材を育成する取組	48	47	45	48	49	-1
34	子ども達に達して、安心・安全で学習に支障をきたすことのない環境の整備	45	44	43	45	46	-1
35	全ての住民が生涯学び続けることができる、生涯学習環境の充実が図られる取組	47	46	45	47	48	-1
36	学校や家庭・地域社会で多様な経験を積めるような活動支援と、子どもが自ら考え、学び、問題を解決する力が身に付く取組	49	48	47	49	50	-1
37	生涯にわたる生きがいづくりのため、誰もが気軽にスポーツに親しめる機会の拡充と環境の整備、住民が心身の健康維持・増進を図るための取組	49	48	47	49	50	-1
38	様々な芸術・文化、歴史などに触れる機会が提供され、多くの住民が地域の文化活動に関心を持つ環境が充実する取組	50	49	48	50	51	-1
39	歴史と文化等を情報発信する体制の確立と文化財の保護、伝承を進める取組	47	46	45	47	48	-1

行政



設 問					満足度(点)	昨年度(点)	点差
40	まちづくりを進める多様な人材の育成や受入が行われ、まちづくりが活発になることにより、多くの住民が行政との協働に参画し、本町や地域に対する愛着を醸成する取組	51	50	49	51	52	-1
41	男女共同参画社会が大きく前進し、女性も男性とともに社会で活躍するための取組	50	49	48	50	51	-1
42	各地域の拠点施設で、まちづくりに関する様々な活動が展開され、住民・行政・地域がそれぞれの役割と責任をもつて、まちづくりの課題を解決する取組	52	51	50	52	53	-1
43	多くの人が本町を訪れ、選ばれる魅力あふれるまちになる取組	50	49	48	50	51	-1
44	本町で生活する住民だけではなく、より多くの人と平等な立場で社会参加できる、人権尊重のまちづくりが進む取組	53	52	51	53	54	-1
45	誠実で正確かつ迅速な行政運営にある職員の人材育成と効果的かつ効果的で柔軟な行政組織づくりへの取組	53	52	51	53	54	-1
46	各種財政指標と比較し健全な状態で、身の丈に合った安定した財政運営の取組	50	49	48	50	51	-1
47	自治体間や事務の権限移譲により、効果的な自治体運営や住民サービスが向上する取組	52	51	50	52	53	-1
48	全ての住民が、紙媒体、デジタル媒体などを通し、高い関心をもつて行政情報を得られ、活用できる取組	40	39	38	40	41	-1
49	デジタル化と既存の窓口業務を並行した住民への利便性向上、住民一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル社会を実現する取組	48	47	46	48	49	-1

人材



設 問					満足度(点)	昨年度(点)	点差
40	まちづくりを進める多様な人材の育成や受入が行われ、まちづくりが活発になることにより、多くの住民が行政との協働に参画し、本町や地域に対する愛着を醸成する取組	51	50	49	51	52	-1
41	男女共同参画社会が大きく前進し、女性も男性とともに社会で活躍するための取組	50	49	48	50	51	-1
42	各地域の拠点施設で、まちづくりに関する様々な活動が展開され、住民・行政・地域がそれぞれの役割と責任をもつて、まちづくりの課題を解決する取組	52	51	50	52	53	-1
43	多くの人が本町を訪れ、選ばれる魅力あふれるまちになる取組	50	49	48	50	51	-1
44	本町で生活する住民だけではなく、より多くの人と平等な立場で社会参加できる、人権尊重のまちづくりが進む取組	53	52	51	53	54	-1
45	誠実で正確かつ迅速な行政運営にある職員の人材育成と効果的かつ効果的で柔軟な行政組織づくりへの取組	53	52	51	53	54	-1
46	各種財政指標と比較し健全な状態で、身の丈に合った安定した財政運営の取組	50	49	48	50	51	-1
47	自治体間や事務の権限移譲により、効果的な自治体運営や住民サービスが向上する取組	52	51	50	52	53	-1
48	全ての住民が、紙媒体、デジタル媒体などを通し、高い関心をもつて行政情報を得られ、活用できる取組	40	39	38	40	41	-1
49	デジタル化と既存の窓口業務を並行した住民への利便性向上、住民一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル社会を実現する取組	48	47	46	48	49	-1

その他



町民の声
(自由記載から一部を掲載)
●さまざまな交流・意見交換ができる場があると思う。
●この恵まれた温泉という宝をまちづくりにもって活かしてほしい。

SUP 体験

行政評価結果

町では令和4年度から「第6次弟子屈町総合計画」の目標年次である令和11年度までにまちの将来像が達成できるよう、毎年度、行政活動を評価し改善に取り組んでいます。
各評価の内容について、1次評価では、事務事業とそれを束ねる施策の評価。2次評価では、施策の

2次評価(町長・副町長による評価)の結果 (主なもの)

施策	改善点と今後検討すること
農業経営力の強化	ワインやチーズなどの地域特産品の採算性分析
観光まちづくりの推進	宿泊税の導入および導入形態の検討
安心できる医療環境の推進	医師不足対策として、新たな医師を迎えるための支援
文化財の適切な保全と活用	ふるさと歴史館への更なる来館者数増加や満足度向上に向けた取組の推進

3次評価(町民評価委員会による評価)の結果 (主なもの)

・有害鳥獣におけるシカによる被害について、年々増加していると思われるため、職業ハンターの配置や育成に力を入れていただきたい。
・農業の後継者対策について、新規就農に関して配偶者やパートナーがいることを条件としてい



町民評価委員会による意見書提出

ることから、現代においてはそぐわないと思う。単身でも従業員を育てることは可能なため、条件の緩和を検討いただきたい。
・中心市街地の再構築について、閉業済みの店舗併用住宅に居住している方が多く、空き店舗の活用が進んでいないことから、退去費用の助成や公営住宅への優先的入居など、予算化を検討いただきたい。
・川湯温泉街の再整備について、当初の計画から遅れが生じていることから、計画の実行性に関して不安視している方もいるのが現状。閉業する事業者も増えていることから、既存の事業者に対して即効性のある支援策を講じていただきたい。
・自治会館などについて、人口減少の中、利用頻度も少なく老朽化が進んでいる施設の維持は困難であると思われるため、統廃合を進めていただきたい。